



心のつながりシート

「リモート交流」

～新しい学校間交流の形～



調布市立第一小学校の提案で、10月2日（金）と11月20日（金）に本校の小学部2年生と調布第一小学校の3年生がリモートでの交流を行いました。

リモートという方法は初めての試みでしたが、調布市立第一小学校と本校は近隣に位置し、お互いに行き来をしながら準備を進めてきました。

当日は、お互いの学校紹介や自己紹介、ゲームなどで楽しい交流を行うことができました。新型コロナウイルス感染症対策をしながら、これからも交流を続けていきます。

調布特別支援学校の
皆さん、こんにちは！



一緒に踊ろう！！



こんにちは！

自己紹介では、自分の写真を貼ったパネルを両手に持ち、モニターに映った交流校の児童の様子をしっかりと確認しながら発表できていました。また、モニターを通してクイズや調布第一小学校の児童からの言葉にも、興味をもって手を挙げ、うなずいていました。終わった後には、「楽しかったね」の感想も聞かれました。

特別支援学校に在籍する児童にとって、自分たちの通っている学校で行えるリモート交流は、「安心して参加できる」というメリットがあります。2回目の交流では、更に積極的に参加する様子が見られました。新型コロナウイルス感染症拡大防止という状況で生まれた新しい交流の形ですが、障害のある児童生徒にとって、誰もが参加できる新しい交流の形として、これからも大いに期待できます。